

令和元年度（技術・家庭科 家庭分野）授業改善推進プラン

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
1年	<p>○授業の内容が小学生の勉強の上に成り立つ部分がある。しかし、ミシンの使い方、針の持ち方、はさみの使い方など基本的な作業で、手が動かない生徒が非常に多い。</p> <p>○授業中、わからない作業があると、固まってしまう。自ら考え工夫をしながら手を動かすことに結びつかず、同じことの繰り返しを行っていることが多い。</p> <p>○作業説明で、どこまで作業内容を聞き取れているか、確認をとれるようにすることが課題である。</p>	<p>○2人1組で作業を行うことが多い。特に、ミシンでは、互いに教えあいを取り入れる。また、班を超えて、作業のできている人がまだ、作業が終わっていない人に教える機会を設けていきたい。</p> <p>○基本的な動作は、繰り返し、何回も行うことが、確実にできることにつながる。テストを行い、作業が確実にできているかどうか、確認をとってほしい。</p> <p>○20分ぐらいでできる、小さな課題を積み重ねできたと思う感覚を身に付けてほしい。</p>	<p>○本時の課題が終わって、次も進めていきたいと思うような、小さな課題を提示する。</p> <p>○出来上がった後の、振り返りシートを作り、授業の後の作業の振り返りが自分自身でできるようにする。</p>
2年	<p>○板書やICTを活用した板書計画、本物を見せる授業に工夫をしていきたい。</p> <p>○話し合い、発表、実習での協力、思いやりなど相手の立場に立ったグループワークを取り入れていきたい。</p>	<p>○板書では、まず、その日の目標を授業の始めに話をする、もしくは、可視化できるように、シートなどを作り貼りつけ、生徒の心に残るようにしていく。</p> <p>○グループワークでは、少人数のグループを取り入れ、仲間との触れ合う、作業、実習時間を増やし、話をする、話を聞く、班で折り合いをつける会話ができる時間を設けていく。</p>	<p>○授業の振り返りシートの中で、実習、実験、作業の仲間との関わりをみとっていく。</p>
3年	<p>○年間の授業時数が少ないため、試験、評価を意識した授業を行い、急いでしまうことがある。</p>	<p>○学期ごとに授業時数の把握し、見直しをもった授業を行っていくと同時に、生徒にも限られた時間を意識させていく。</p>	<p>○補習や課題としてのプリントを細かく確認していく。</p>